

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

令和5年度研修

水害対応タイムライン

－ 適切なタイミングで躊躇なく行動 －

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

令和元年10月の東日本台風では7県で71河川140カ所の堤防が決壊し、また令和2年8月の停滞前線による豪雨では九州を中心に全国で約13,000haが浸水するなど、気候変動の影響により、人命や家屋等に甚大な被害をもたらす水害が頻繁に発生しています。

堤防等のインフラ整備による被害の最小化には相当の時間を要するため、国はこれまでのタイムライン（避難情報着目型）を見直し、雨量や河川の水位など流域全体で危機感を共有し、迅速な災害対応を促すことを狙い、水害発生を想定した河川流域全域の自治体などの対応を時系列で定めた「流域タイムライン」の全国の1級河川への導入を目指しています。これを踏まえ、自治体の行動計画（市町村タイムライン）を作成、又は既存の市町村タイムラインを修正することが求められています。

本研修は、国において流域タイムラインが標準化されるのを踏まえ、気象警報や避難情報等の活用と水害対応タイムライン（防災行動計画）の作成方法について修得し、タイムラインコーディネーターとなる人材を育成することを目的としています。

集合研修では、全国から集まった参加者の相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。

また、当該研修の講義をライブ研修として、リアルタイムでも配信いたします。
皆様のご参加をお待ちしています。

◎受講された方々の声

- ・水害対応タイムラインの作成から運用・振り返りまで、一連の流れを講義で知ることができ、理解が深まりました。
- ・実際に作成や運用経験のある方から、当時の様子や現場の声を聞ける貴重な機会になりました。

【研修期間】 令和5年11月29日(水)～12月1日(金) 3日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL: 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

※当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

※受講経費の助成制度がある道県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります）

集合研修は、〔北海道〕・青森・岩手・栃木・群馬・〔神奈川〕・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・〔大分〕・宮崎の19道県。ライブ研修は〔 〕を除く16県。

詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

令和5年度研修「水害対応タイムライン」実施要領

- 適切なタイミングで躊躇なく行動 -

1. 目的 国において流域タイムラインが標準化されるのを踏まえ、気象警報や避難情報等の活用と水害対応タイムライン（防災行動計画）の作成方法について修得する。
2. 対象者 国、地方公共団体、市民生活に関連のある社会インフラ関係機関や地区組織、コンサルタント等において防災担当業務に携わる者
3. 募集人数 【集合研修】30名 【ライブ研修】定員はありません。
4. 研修期間 令和5年11月29日(水)～12月1日(金) 3日間

【集合研修に関する注意事項】

- ※全寮制を取り止め、通学制とします。
- ※37.5℃以上の発熱が確認された際は、当該研修の受講をお断りさせていただきますのでご了承ください。
- ※会館内ではマスク着用のご協力をお願いいたします。

※近隣の提携ホテルに研修生特別料金で宿泊できます。
当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。
<https://www.jctc.jp/training/hotel>

5. 集合(配信)日時
【集合研修】 11月29日(水) 13時00分から13時10分までに、受付を行ってください。
【ライブ研修】 11月29日(水) 講義開始30分前から配信しますので、講義開始前までにログインしてください。

6. 教科目、講師及び研修場所（次頁以降参照）

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：竹本、長井
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>
TEL：042-324-5315 FAX：042-322-5296

※申込方法 【集合研修】インターネット、郵送、FAX
【ライブ研修】インターネット

8. 研修会費及び納入方法

研修会費（1人当たり、消費税含）

70,000円

請求書を送付しますので、請求書到着後にお振り込みください。

※振込手数料はご負担ください。

※集合研修を希望される方は当日持参も可能です。

請求書の発送・納入方法につきましては、
当センターホームページ「<https://www.jctc.jp/training/kaihi>」をご確認ください。

9. 申込締切日 令和5年11月15日(水)

【集合研修】

10. 継続教育(CPD)について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム〔昨年度単位数 13.33〕

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム〔昨年度ユニット数 6〕

11. その他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

【お知らせ】

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込500円)の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

【ライブ研修】

10. 継続教育(CPD)について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム〔昨年度単位数 13.33〕

※ライブ研修は全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラムではありません。

11. ライブ研修に関するご案内

(1) 動作環境

- ・インターネットが閲覧できる環境(通信料は各自負担となります)
- ・推奨OS: Windows10以降、Mac OSX 10.11以降
- ・推奨ブラウザソフト: Google Chrome、Microsoft Edge(バージョンはすべて最新版)
- ・上記環境に該当しても、セキュリティ環境によっては閲覧できない場合があります。
※研修センターホームページの申込画面にある確認用動画で閲覧可能か、お申込み前にご確認ください。

(2) 注意事項

- ・お申込みには当たっては、「WEB研修規約」の内容を確認し、同意の上お申込みください。
- ・動画を録画・キャプチャーすることやSNS等へのアップは禁止します。
- ・サービス利用に当たってのサポートは致しかねます。
- ・申込者のみ閲覧可能とし、視聴ID等の譲渡を禁止します。
- ・受講される人数分お申込みください。

(3) その他

- ・申込締切日以降、受講に必要なID/パスワードを送信します。
また、申込時に登録された住所に「研修テキスト」を送付します。
- ・研修開始の3日前(土日祝日は除く)までに「ID/パスワード」「研修テキスト」が未着の場合はご連絡ください。
- ・「ID/パスワード」通知後にキャンセルはできません。

12. 修了証書の発行

ID/パスワード送信時に、「学習報告書」を添付いたします。「学習報告書」に必要事項をご記入の上、返信してください。確認後、修了証書を送付いたします。

「水害対応タイムライン」 時間割

－適切なタイミングで躊躇なく行動－

月日	時間	講義時間	教科目	概要	講師
11/29 (水)	13:00 ~ 13:10 13:10 ~ 13:40		受付 開講の挨拶・オリエンテーション		
	13:40 ~ 14:40	1.0	タイムライン基礎編	・タイムラインの発見と歴史 ・タイムラインエトセトラ ・映像で見るタイムライン ・タイムラインが命を救った	東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎
	14:50 ~ 15:50	1.0	タイムライン応用編	・流域治水と流域タイムライン ・タイムラインで機関連携を進める	京都大学防災研究所 特任教授 井上 智夫
	16:00 ~ 17:00	1.0	河川管理・防災とタイムライン	・河川管理とタイムライン ・タイムラインふりかえりと改善 ・タイムラインを防災業務計画に位置づける	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 企画専門官 望月 貴文
11/30 (木)	9:00 ~ 10:30	1.5	避難情報の発令とその基本	・近年の水害と避難の現状について ・避難に関するガイドラインについて ・防災計画とタイムライン	内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（調査・企画担当）付 風水害対策調整官 星尾 日明
	10:40 ~ 12:10	1.5	2020年7月豪雨とタイムライン	・球磨村の防災の取組 ・球磨村タイムラインと流域タイムライン ・2020年7月豪雨AARとこれから	熊本県球磨村 防災管理官 中渡 徹
	13:10 ~ 14:10	1.0	タイムライン運用のトリガーとなる 防災気象情報の活用	・台風性タイムラインと防災気象情報 ・前線性タイムラインと防災気象情報 ・土砂災害タイムラインと防災気象情報	気象庁 大気海洋部気象リスク対策課 流域治水対策指導係長 西 秀紘
	14:20 ~ 15:20	1.0	タイムライン運用のトリガーとなる 河川防災情報の見方、使い方	・タイムラインの運用に必要な河川防災情報の見方、 使い方 ・浸水想定区域図・重ねるハザードマップの活用 ・タイムラインのトリガーとなる緊急速報メールや逃げな きゃコールの活用	国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 企画専門官 外山 喜彦
	15:30 ~ 17:00	1.5	紀宝町マルチハザード・タイムライ ンで命を守る	・紀宝町とタイムライン9年 ・町水害対応タイムラインとその効果 ・自主防災会コミュニティ・タイムライン ・タイムライン防災情報による共有 ・津波タイムライン、コロナタイムラインへの挑戦	三重県紀宝町 危機管理監 向井 美樹也
12/1 (金)	9:00 ~ 10:00	1.0	自治体のコミュニティとタイムライン	・自治体防災の課題 ・コミュニティ・タイムラインとは ・要支援者避難タイムラインへの挑戦 ・足立区コミュニティタイムラインの取組み	タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議 事業事務局局長 川口 隆尋 足立区危機管理部 総合防災対策室 調整担当課長 菅野 和幸
	10:10 ~ 11:10	1.0	流域タイムラインの策定と運用 (荒川下流域タイムライン)	・荒川下流水害タイムラインの歴史 ・荒川水害タイムラインから流域タイムラインへ ・WEBによる危機感共有の取組とその効果 ・タイムラインの運用	国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 総括地域防災調整官 榎澤 義一
	11:20 ~ 12:20	1.0	総合討論	・タイムラインをどう生かす？	東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎
	12:20~12:30		閉講式		

※ 教科目及び講師等について、変更することがあります。

令和5年度研修 水害対応タイムライン 集合研修用 申込書

※ライブ研修の申込は、インターネット申込のみとなります。

一般財団法人 全国建設研修センター

C305

ふりがな				年 令	性 別
氏 名				満 才	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
最 終 学 歴	<input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 大 学	<input type="checkbox"/> 短大	<input type="checkbox"/> 高専	<input type="checkbox"/> 専門学校
	<input type="checkbox"/> 高 校	<input type="checkbox"/> その他 科卒業/修了			
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役 職 名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術	
勤 務 先	(勤務先名)				
	部 課 電				
	E-mail	@			
勤 務 先 種 別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体	<input type="checkbox"/> 独立行政法人等	<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社団		
	<input type="checkbox"/> 建設業者	<input type="checkbox"/> コンサルタント	<input type="checkbox"/> その他		
勤 務 先 所 在 地	〒 - 電				
研 修 会 費 納 入 方 法	<input type="checkbox"/> 振 込 <input type="checkbox"/> 持 参				

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。
 申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

<水害対応タイムライン研修>

受講者派遣機関名

〒 - 電

所 在 地

派遣事務担当者

所属・氏名

キ リ ト リ セ ン

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

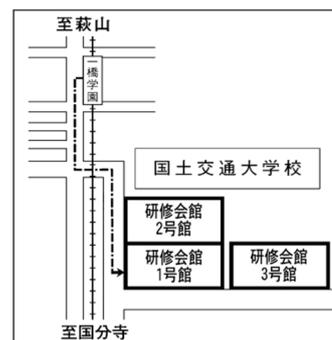
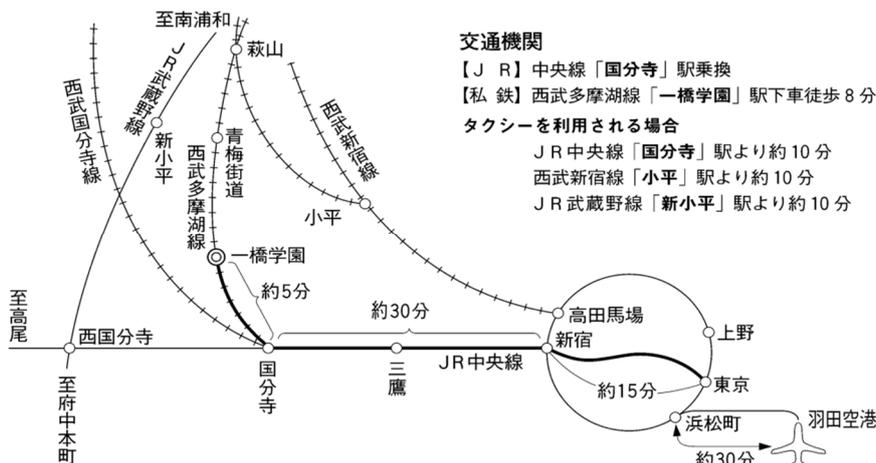
※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

<https://www.jctc.jp/>



【参考】令和5年度、当センターが実施いたします河川、砂防、海岸、防災(一部)部門の研修は次のとおりです。

研修名		※対象者	研修初日	日数	研修会費(円/人)
地域の浸水対策	【集合】【ライブ】	一般	5月10日(水)	3	66,000
砂防等計画設計	【集合】	一般	5月30日(火)	4	79,000
河川構造物設計	【集合】	一般	7月11日(火)	4	75,000
河川整備計画・事業評価	【集合】【ライブ】	一般	8月29日(火)	4	74,000
土砂災害対策	【集合】【ライブ】	一般	9月13日(水)	3	70,000
海岸技術の実務	【集合】	一般	11月8日(水)	3	70,000
水害対応タイムライン	【集合】【ライブ】	一般	11月29日(水)	3	70,000
事例から学ぶ水災害に備えた市町村の対応	【集合】【ライブ】	一般	1月17日(水)	3	75,000

※「一般」… 行政、民間を対象とした研修

令和5年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。

なお、この場合は全ての研修について配信されます。

ご希望の方は、下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>

